Ruthor   決見、雅一(Asami, Masakazu)   Publisher   没見、雅一(Asami, Masakazu)   Publication year   Jittle   学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)	·	tory of Academic resouces
Publisher	Title	キリシタン史料の基礎的研究
Publisher		
Publication year	Author	浅見, 雅一(Asami, Masakazu)
Jatic DOI  Abstract  本研究では、キリシタン史料の性質について考察を行なった。イエズス会日本関係史料の性質について、その成立から構成に至るまでを考察の対象とした。これまで、イエズス会関係史料を電子データなどで徐々に収集してきたが、パルセロナのイエズス会の大量の布教関係生料群が電子データで開産されなり、一般の研究者にも公関している。同文書館は、イエズス会の大量の布教関係生料群が電子データで用意されており、一般の研究者にも公関している。同文書館長・カサノバ神父のご厚意によって調査が可能となったものである。現在、イエズス会日本年報の成立について、これまで収集してきた史料から分析を造めている。日本年報は、日本各地から長崎に送付された報告を基にして、民崎にいる年料例作者がまとめている。ところが、通常は年報の元になっている報告はすべてが残存している中科制作者がまとめて、で、現存する日本年報の分析から、年報がどのような成立性構成を検討している。それと同時に、そうした日本年報の支料的が新学実関係の解明にどの程度をで使立つかる。それと同時に、そうした日本年報の史料的が折か等実関係の解明にどの程度でまで使立つかる考えているところである。なれ、本研究では、イエズス会が所載する演集の電子データを所蔵していることが経認できた。そこで、これらの漢籍を可能な限り調査した。これらの漢籍を可能な限り調査した。これらの漢籍を可能な限り調査した。これらの漢籍を可能な限り調査した。これらの漢籍を可能な限り調査した。これらの漢籍を可能な限りました。これらの漢籍を可能な限りました。これらの漢籍の成立状況は、欧文史料群に具体的記載が見られることがあるので、欧文史料と漢籍とを照合していることが後の課題のとしているたいと思う、大量に作成されたイエズス会の漢籍の成立状況は、欧文史料群に具体的記載が見られることがあるので、欧文史料と漢籍をを照合していくことが今後の課題のとしてきる。In this study, I considered the characteristic of the Jesuit materials by electronic data etc., and I could consult the Jesuit Catalunya History Archives in Barcelona. In the archive, a large number of Jesuits' mission-related documents are held in electronic data etc., and I could consult the Jesuit Catalunya History Archives in Barcelona. In the archive, a large number of Jesuits' mission-related documents are held in electronic data and are open to general researchers. The searchers from the analysis of the existing annual report sent from various parts of Japan to Nagasaki. However, not all reports that are usually the basis of annual report is examining what kind of formation and composition. At the same time, I am thinking if such a historical analysis of the using annual report of Japan, the annual report is examining what kind of formation and composition. At the same time, I am thinking if such a historical analysis of the wisting annual report of Japan, the annual report is examining what kind of formation and composition. At the same time, I am thinking if such a historical analysis of the visiting annual report of the Japanese annual report to the Chinese materials written by	Publisher	慶應義塾大学
Abstract 本研究では、キリシタン皮料の性質について考察を行なった。イエズス会日本関係史料の性質について、その成立から構成に至るままでを考察の対象とした。これまで、イエズス会開係史料を重くできることができた。「中では素性の大きないから、これまで、イエズス会の大きないから、大きないでは、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然では、自然	Publication year	2019
本研究では、キリシタン史料の性質について考察を行なった。イエズス会日本関係史料の性質について、その成立から構成に至るまでを考察の対象とした。これまで、イエズス会関係史料を電子データなどで徐々に収集してきたが、バルセロナのイエズス会カタルーア歴史文書館において史料調査を行なうことができた。同文書館は、イエズス会の大量の布教関係史料群で電子データで所蔵されており、一般の研究者にも公別している。同文書館長F・カサノバ神父のご厚意によって調査が可能となったものである。現在、イエズス会日本年報の成立について、これまで収集してきた史料から分析を進めている。日本年報は、日本各地から長側に送付された報告を基にして、長崎にいる年報制作者がまためている。ところが、通常は年報の元になっている報告はすべてが残存しているわけではない。そこで、現存する日本年報の分析がら、年報がどのような成立と構成を検討している。それと同時に、そうした日本年報の世外がから、年報がどのような成立と構成を検討している。それと同時に、そうした日本年報の世外がから、年報がどのような成立と構成を検討している。それと同時に、そうした日本年報の世外がから、年報がとのような成立と構成を検討している。それと同時に、そうした日本年報の世外がから、年報がどのような成立と構成を検討している。それと同時によった。これらの漢葉を述めてきたが、イエズス会が対象にはイエズス会が所蔵する漢籍の電子デッを開放していることが確認できた。そこで、これらの漢種はイエズス会が所蔵する漢籍をした。これらの漢籍は、おもに明末から清代中期にかけて中国において作成、印刷された版本である。かつて同会のアルバート・チャン特父は、イエズス会が対域する漢籍をすべてローマ・イエズス会で書館に集め、計るに明末から清代中期にかけて中国において作成、印刷された版本である。かつて同会のアルバート・チャン特父は、イエズス会が対域する業様をですべてローマ・イエズス会で書館に集め、計会に関すを持ている。この目録を頼りに漢籍の関立を合いした。この目録を頼りに漢籍の関立を合いまでは、1年は日本に対しましていることが今後の課題のひとつてある。In this study, I considered the characteristic of the Jesut materials in Japan about its formation and its composition. So far, I have been collected gradually the Jesutit materials by electronic data etc., and I could consult the Jesutit Catalunya History Archives in Barcelona. In the archive, a large number of Jesutits mission-related documents are held in electronic data and are open to general researchers. The investigation was made possible by the courtesy of Fr. Casanova. At present, I am analyzing the historical materials collected about the missions of the Japan Society for the Jesutit. The Japana pan, the annual reports remained. Therefore, from the analysis of the existing annual report of Japan, the annual report semaining what kind of formation and composition. At the same time, I am thinking if such a historical analysis of the Japan Society for the Jesutit. The Japana, the annual report semained analysis of the Japan Society for the Jesutit. The Japana, the annual report semained analysis of the Japana Society for the Jesutit. The Japana, the annual report semained and the could and the fo	Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
マテータなどで徐々に収集してきたが、バルセロナのイエズス会力タルニア歴史文書館において史料調査を行なっことができた。同文書館は、イエズス会の大量の本製開係史料野が電子データで所蔵されており、一般の研究者にも公開している。同文書館長F・カサノバ神父のご厚意によって調査が可能となったものである。現在、イエズス会日本年報の成立について、これまで収集してきた史料から分析を進めている。日本年報は、日本各地から長崎に送付された報告を基にして、長崎にいる年報制作者がまとめている。ところが、通常は年報の元になっている報告はすべてが残存しているわけではない。そこで、現存する日本年報の少析から、年報がどのような成立と構成を検討している。それと同時に、そうした日本年報の史料的分析が事実関係の解明にどの程度まで役立のかを考えているとうる。なお、本研究では、イエズス会の改文学科をおもな対象として調査を進めてきたが、イエズス会力タメルニア歴史文書館にはイエズス会が所蔵する漢籍の電子データを所蔵している。それと同時に、そうした日本年報の世科的分析が事実関係の解明にどの程度まで役立のかを考えているとうである。なお、本研究では、イエズス会の改文学科をおもな対象として調査を進めてきたが、イエズス会カカタルニア歴史文書館にはイエズス会が売載する漢籍で限り調査した。これらの漢籍は、おもに明末から清代中期にいかけて中国において作成、印刷せれた水版本である。かつて同会のアルバト・チャン神父は、イエズス会が所蔵する深籍をすべてローマ・イエズス会文書館に集め、詳細な目標を出版した。この目録を頼りに漢籍の書金を含む進めていきたいと思う。大量に作成されたイエズス会の演集をのでは、イエズス会が所蔵する深籍をすべてローマ・イエズス会文書館に集め、詳細な目標を出版した。この目録を頼りに英語の書を含えまでは、またいと思う。大量に作成されたイエズス会の漢籍の成立状況は、放文史料群に具体的記載が見られることがあるので、欧文史料と楽器を合成していくことが今後の課題のひとつである。In this study, I considered the characteristic of Christian historical materials. I treated the characteristic of the Jesuit materials in Japan about its formation and its composition. So far, I have been collected gradually the Jesuit materials by electronic data etc., and I could consult the Jesuit Catalunga History Archives in Barcelona. In the archive, a large number of Jesuits' mission-related documents are held in electronic data and are open to general researchers. The investigation was made possible by the courtesy of Fr. Casanova. At present, I am analyzing the historical materials collected about the missions of the Japan Society for the Jesuit. The Japanese annual report is compiled by the annual-report-producers at Nagasaki, based on the reports sent from various parts of Japan to Nagasaki. However, not all reports that are usually the basis of annual report is examining what kind of formation and composition. At the same time, I am thinking if such a historical analysis of the Japanese annual report help to elucidate the facts.  In addition, in this research, I have researched mainly on the European materials written by the Jesuits, but it c	JaLC DOI	
Genre Research Paper		ついて、その成立から構成に至るまでを考察の対象とした。これまで、イエズス会関係史料を電子データなどで徐々に収集してきたが、バルセロナのイエズス会カタルニア歴史文書館においてと料調金を行なうことができた。同文書館は、イエズス会の大量の布教関係史料群が電子データで所蔵されており、一般の研究者にも公開している。同文書館長F・カサノバ神父のご厚意によって調査が可能となったものである。現在、イエズス会内を手機の成立について、これまで収集してきた史料から分析を進めている。日本年報は、日本各地から長崎に送付された報告を基にして、長崎にいる年報制作者がまとめている。ところが、通常は年報の元になっている報告はすべてが残存しているわけではない。そで、現存する日本年報の分析から、年報がどのような成立と構成を検討している。とれるした日本年報の対析から、年報がどのような成立と構成を検討している。ところが、近常は年報の元になっている報告はすべてが残存しているわけではない。そうした日本年報の史料的分析が事実関係の解明にどの程度まで役立つのかを考えているところである。なれ、本研究では、イエズス会の欧文史料をおもな対象として調査を進めてきたが、イエズス会カタルニア歴史文書館にはイエズス会が所蔵する漢籍の電子データを所蔵していることが確認できた。そこで、これらの漢籍を可能な限り調査した。これらの漢籍は、おもに明末から清代中期にかけて中国において作成、印刷された木版本である。かつて同会のアルパート・チャン神父は、イエズス会が所蔵する漢籍を可能な限り調査とか。これらの漢籍は、おもに明末から清代中域、イエズス会が所蔵する漢籍を可能な限り調査とかる。かつて同会のアルパート・チャン神父は、イエズス会が所蔵する漢籍を可能な限りまから、これらの漢籍の成立状況は、欧文史料群に具体の記載が見られることがあるので、欧文史料と漢籍とを照合していくことが今後の課題のひとつである。 hthis study, I considered the characteristic of Christian historical materials. I treated the characteristic of the Jesuit materials in Japan about its formation and its composition. So far, I have been collected gradually the Jesuit materials by electronic data etc., and I could consult the Jesuit Catalunya History Archives in Barcelona. In the archive, a large number of Jesuits' mission-related documents are held in electronic data and are open to general researchers. The investigation was made possible by the courtesy of Fr. Casanova. At present, I am analyzing the historical materials in Japan Society for the Jesuit. The Japanese annual report is examining what kind of formation and composition. At the same time, I am thinking if such a historical analysis of the Japanese annual report help to elucidate the facts. In addition, in this research, I have researched mainly on the European materials written by the Jesuits, but it can be confirmed that the Jesuits. The Therefore, I investigated these Chinese materials as much as possible. These Chinese nationalities are mainly woodcuts produced and printed in China from the end of the Ming Dynasty to the middle of the Qing Dynasty. At the same time, Fr
	Notes	
LIRI https://kgara.lih.kejg.ac.in/yognins/modules/yognins/dotoil.php?kgara.id=2019000005_20190200	Genre	Research Paper
	URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180298

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quotin	g the content, please follow the Japanese copyright act.

## 2018 年度 学事振興資金 (個人研究) 研究成果実績報告書

研究代表者	所属	文学部	職名	教授	- 補助額	200	(B)	千円
	氏名	浅見 雅一	氏名 (英語)	Masakazu Asami		200 (	(6)	TI

研究課題(日本語)

キリシタン史料の基礎的研究

研究課題 (英訳)

Basic Research on the Jesuit Historical Materials

## 1. 研究成果実績の概要

本研究では、キリシタン史料の性質について考察を行なった。イエズス会日本関係史料の性質について、その成立から構成に至るまでを考察の対象とした。これまで、イエズス会関係史料を電子データなどで徐々に収集してきたが、バルセロナのイエズス会カタルニア歴史文書館において史料調査を行なうことができた。同文書館は、イエズス会の大量の布教関係史料群が電子データで所蔵されており、一般の研究者にも公開している。同文書館長 F・カサノバ神父のご厚意によって調査が可能となったものである。

現在、イエズス会日本年報の成立について、これまで収集してきた史料から分析を進めている。日本年報は、日本各地から長崎に送付された報告を基にして、長崎にいる年報制作者がまとめている。ところが、通常は年報の元になっている報告はすべてが残存しているわけではない。そこで、現存する日本年報の分析から、年報がどのような成立と構成を検討している。それと同時に、そうした日本年報の史料的分析が事実関係の解明にどの程度まで役立つのかを考えているところである。

なお、本研究では、イエズス会の欧文史料をおもな対象として調査を進めてきたが、イエズス会カタルニア歴史文書館にはイエズス会が所蔵する漢籍の電子データを所蔵していることが確認できた。そこで、これらの漢籍を可能な限り調査した。これらの漢籍は、おもに明末から清代中期にかけて中国において作成、印刷された木版本である。かつて同会のアルバート・チャン神父は、イエズス会が所蔵する漢籍をすべてローマ・イエズス会文書館に集め、詳細な目録を出版した。この目録を頼りに漢籍の調査を今後も進めていきたいと思う。大量に作成されたイエズス会の漢籍の成立状況は、欧文史料群に具体的記載が見られることがあるので、欧文史料と漢籍とを照合していくことが今後の課題のひとつである。

## 2. 研究成果実績の概要(英訳)

In this study, I considered the characteristic of Christian historical materials. I treated the characteristic of the Jesuit materials in Japan about its formation and its composition. So far, I have been collected gradually the Jesuit materials by electronic data etc., and I could consult the Jesuit Catalunya History Archives in Barcelona. In the archive, a large number of Jesuits' mission-related documents are held in electronic data and are open to general researchers. The investigation was made possible by the courtesy of Fr. Casanova. At present, I am analyzing the historical materials collected about the missions of the Japan Society for the Jesuit. The Japanese annual report is compiled by the annual-report-producers at Nagasaki, based on the reports sent from various parts of Japan to Nagasaki. However, not all reports that are usually the basis of annual reports remained. Therefore, from the analysis of the existing annual report of Japan, the annual report is examining what kind of formation and composition. At the same time, I am thinking if such a historical analysis of the Japanese annual report help to elucidate the facts.

In addition, in this research, I have researched mainly on the European materials written by the Jesuits, but it can be confirmed that the Jesuit Catalunya Historical Archive holds electronic data of the Chinese nationalities possessed by the Jesuits. The Therefore, I investigated these Chinese materials as much as possible. These Chinese nationalities are mainly woodcuts produced and printed in China from the end of the Ming Dynasty to the middle of the Qing Dynasty. At the same time, Fr. Albert Chan, who was a member of the Society of Jesus, collected all the Chinese nationalities held by the Jesuits in the Roman Jesuit Archives and published a detailed catalog. I would like to proceed with the study of Chinese materials by relying on this list. Since the state of the establishment of the Chinese material's register of the Jesuits, which has been prepared in large quantities, may be described in detail in the lists of historical texts, it is one of the future tasks to collate the historical texts with the register.

3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
浅見雅一・野々瀬浩司編著	キリスト教と寛容	慶應義塾大学出版会	2019 年 2 月			